



各種学力調査の結果から

令和6年度の全国学力・学習状況調査、長崎県学力調査について、本校児童の結果と今後の対策についてお知らせします。

〔学力調査と対象学年及び教科〕（令和6年4月18日実施）

- ①全国学力・学習状況調査（6年：国語・算数・質問紙調査）
- ②長崎県学力調査（5年：国語・算数、6年：理科）

結果は以下のとおりです。

- 6年生は、国語・算数ともに、正答率が全国平均を上回っています。
理科は、県平均を大きく上回っています。
- 5年生は、国語の正答率が県平均を大きく上回っています。
算数は、正答率が県平均を上回っています。

正答率を見ると、どの学年もとてもよい結果が見られました。子どもたちが日々の授業や家庭学習に真剣に取り組んでいる成果だと考えます。ただ問題を設問ごとに細かく見ていくと課題も見られました。以下は学力調査から見えてきた課題とその改善策です。

国語〔◆課題、○改善策〕

- ◆正しい文章で話したり、書いたり、自分の考えや伝えたいことを明確にすることが苦手。
→○「いつ・どこで・だれが・何を・なぜ」の使い方を理解させ、日常の中で使わせる。
- ◆相手の気持ちを想像すること、伝えたいことをくみ取ることが苦手。
→○自分が伝えたいことを簡潔に書く力を高める。
 - 主語・述語をはっきりさせた文章を書く力をつける。
 - 授業中に対話する活動をたくさん取り入れ、自分の意見と比較する力を高める。
 - 根拠や叙述をもとに読み取る練習をする。

算数〔◆課題、○改善策〕

- ◆数量関係や図形を構成する要素や概念、速さなどの単位量あたりについて考えることが苦手。
また、そのことを、根拠をもとに相手に伝えることが苦手。
→○正答率が低い内容について再度確認して、基礎的な知識及び技能を定着させる。
 - 数量関係や図と式との関係等を絵図や言葉で表し、それらをもとに問題を解決する。
 - 自分の考えを相手に説明する活動を常時取り入れる。
 - 読解力や表現力を育てる。

学力調査は、学習した内容が子どもたちにどの程度身に付いているかを見ることが出来る指標です。調査結果を今後の指導に生かすため、課題を全職員で共有するとともに、改善に向けた指導を各学年の発達段階に応じて行うことで、子どもたち一人一人の力を伸ばしていきます。

ご家庭でも、「大久保小学校 学習の手引き」をご活用いただき、家庭学習の充実と習慣化に向けて、子どもたちへの励ましのお声掛けやご指導をお願いいたします。